

# 平成26年度第1回緑区区民対話会 議事要旨

## テーマ 「中学生の地域活動への参加について ～安心して魅力のあるまちづくりに向けて～」

1 自分達が住むうえで、安心して生活でき、魅力的に感じるまち・地域とはどんなものですか？また、その理由も教えてください。

### (1) 治安の良いまち

- 事件・事故が起きてパトカーや救急車がたくさん走っていると安心して生活できないから。
- 夜、酔っぱらった人や花火をしている人が騒いでいると、うるさくて迷惑なため。
- 不審者情報が多く、登下校の際は注意するよう先生に注意されているが、部活や塾などで帰宅が遅くなることが多く、暗い夜道を歩くのが不安なため。

### (2) 地域との交流が盛んなまち

- 知らない人でもあいさつをすると笑顔になり、活気のあるまちになると思うから。
- 地域の人との交流が盛んであれば、困ったときにお互いに助け合うことが出来て、防犯意識も高くなると思うから。
- 通学路などで気軽に声をかけてくれる、セーフティウォッチャーとして活動してくれているお年寄りや、あいさつ運動や敬老会などのイベントで交流することが出来れば、地域の輪が広がり、お互いが見守りあって安心して生活できると思うから。
- 地域のつながりが強ければ、地域内でパトロールなどを行い、不審者情報などに対応できるから。
- 挨拶などで地域の人とコミュニケーションが常に取れていれば、災害発生のときなど、お互いを助け合えるから。
- 地域の人を他人と思わず、同じ地域に住む仲間という意識を持つことによって、助け合いや譲り合いの気持ちが強まり、様々な場面でコミュニケーションが生まれて、住んでいて心地良い環境になると思うから。

(3) ごみのない清潔なまち

- 空き缶やペットボトル、たばこのポイ捨てなどのごみが落ちていると汚く、不衛生なまちになるから。
- エコキャップ運動などを区全体で行なえば、リサイクル運動がより活発になると思うから。
- 緑が多いと公園などを散歩するお年寄りの方が清々しい気分になると思うから。

(4) 道路・公共施設などが整備されているまち

- 段差があったり歩道が狭い道路などは、お年寄りは足を踏み外したりしやすくて危険だと思うため。
- お年寄りや体の不自由な人、ベビーカーを使う人達が安心して生活できるように、公共施設のバリアフリー化を進めてほしいと思うから。
- 小中学校の通学路などでも、雑草などで道が塞がれているところがあり、危険なので、きちんと整備して安心して道を歩けるようにしたいから。
- 公園の遊具など公共の施設に落書きなどがあると、利用者にとって不快だし、小さい子供が遊ぶ環境としても良くないと思うから。

(5) マナーが守られているまち

- 公共交通機関を利用するときに、お年寄りに席を譲らなかつたり、駆け込み乗車をしたりなどマナーを守らない人がいると危険で、周りの人に迷惑になるため。

(6) 大災害が起こった時にしっかりと対処できるまち

- 最近ニュースで首都直下地震などが起こると言われており、そういった時に全員が混乱してしまうと防げる被害も防ぐことが出来ないから。

## 2 安心して魅力のあるまち・地域をつくる為に、自分たちはどのように地域活動に参加していけば良いと思いますか。

(1) 治安の良いまち

- 遠回りになってしまってもいいので、明るい道や人通りの多い道を通ることを心がける。

- 地域の人達と協力してパトロールを積極的に行う。
- 塾や居酒屋、ファーストフードなどの店頭で「夜は静かにしましょう」といったポスターを貼る。
- 明るい道を歩くよう呼びかけるポスターを作ったり、パトロールを行ったりする。

## (2) 地域との交流が盛んなまち

- 七夕やお祭りなどの地域の行事を手伝い、地域の人や学校の人にそういった行事のことを教えたりするなど、自分たちに出来る事をしっかりしていく。
- 地域ですれ違った人に自分から進んであいさつを行い、学校内ではあいさつの呼びかけを行う。
- 地域や学校の掲示板を使って、緑区の事をより知ってもらうようにする。
- 土気サマーフェスティバル、ふるさと祭り、クリーン活動など緑区にある様々な行事に積極的に参加する。
- 敬老会や地域へのボランティアなどに積極的に参加し、お年寄りと交流する機会を少しでも増やしていく。
- 地域の人に花の栽培などについて指導してもらい、その花を相手に届けて定期的に様子を見に行くといった、長期間的な交流を取っていく。
- 各部活などでは地域の防災訓練に参加したり、道路のごみ拾いや訪問演奏等を行ったりしているが、部活以外でもそういった活動を積極的に行い、地域の方々と仲良くなって、見守ってもらえるような関係を作る。
- 募金活動やごみ拾いウォークなどの活動を行って、地域の人との触れ合う機会を作っていく。

## (3) ごみのない清潔なまち

- クリーン・アンド・グリーン活動として地域の人達とごみを拾ったりするなどの地域活動に積極的に参加する。
- リサイクル運動のポスターを作り、一人一人が協力できるように地域清掃中などに呼び掛ける。
- ボランティアの一環として学校周辺のごみ拾い活動を行ってきれいにする。
- クリーン活動について、学校から生徒・親への周知だけでなく、色々な人の家へチラシのポスティングを行って、学校だけでなく地域と合同で行なえるようにする。

## (4) 道路・公共施設などが整備されているまち

- 遊歩道などの枯れた草木や雑草を取って、花や木を植えて緑を増やしたい。
- 学校周辺に花を植えて、通行する方々の気持ちを明るくする。
- 道の草刈りを行って通行しやすくしたり、看板をきれいにして注意を引くようにしたりする。
- いたずら書きの多い施設を調べて、ボランティアを募り、落書きを消していく。

(5) マナーが守られているまち

- 自転車や歩行者が狭い道を通るときには2列にならないよう心掛ける。
- 自分から席を譲る、切符などを購入する際は急いでいる人に順番を譲るなどの気配りや気遣い、思いやりを持つようにする。
- 毎朝当たり前のようにしているあいさつを、気持ちよく明るくする事を心がけて、あいさつした側もされる側も1日を爽やかな気持ちで過ごせるようにする。

(6) 大災害が起こった時にしっかりと対処できるまち

- 避難所までの避難経路の確認や持っていくものの用意の呼びかけをしたり、被災キャンプなどに参加したりして、被災した時の動きを体験して、いざという時にしっかりと対処できるようにする。

### 3 意見交換

(1) 公園の道や道路が整備されてなく、砂利道などで危険なところがあるので、きちんと整備してほしいです。

<区役所の回答>

緑公園緑地事務所、土木事務所などが管理しているので、こういった要望があったことを伝えておきます。場合によっては詳しい場所などを確認させていただきますのでその際はよろしくお願いします。

(2) 中学生は塾などで帰りが遅くなる時が多いので、街灯をもう少し増やしてほしいです。

<区役所の回答>

町内にある街灯には道路照明と防犯街灯の2種類があり、比較的小さな道にあ

るのが防犯街灯になります。これは町内自治会が設置・管理を行い、市が補助をするという制度です。

お父さんお母さんを通じて町内自治会に防犯街灯をつけるようお願いをするのが良いと思います。

また機会があれば該当する町内自治会にも区役所の方から話をしておきます。

(3) 学校の通学路にはミラーや看板などがあるのですが、木や草で隠れてしまっていて見えなくなり、危険なので対処してほしいです。

<区役所の回答>

道路に出ている木や草は管理している人が切らなければいけないものなので、現場を確認して対応を検討したいと思います。

(4) 防災のハザードマップについて、知らない人も多いと思うので、もっと誰にでも分かるようにした方がいいと思います。

<区役所の回答>

ハザードマップについてはホームページ上に載せてあります。一度見てもらってもっとこのように工夫した方がいいよといったご意見があればご連絡ください。

また紙面でも用意してありますので、必要ならご連絡ください。

ハザードマップとは違いますが、土砂災害や崖崩れについての情報が載っているホームページもあるので参考までに見ていただければと思います。

(5) スクールゾーンなどで速度を上げている車が多いので、注意するような看板を設置してほしいです。

<区役所の回答>

速度制限区域の指定は警察で行なっていますが、区の方からもこういった話があったことを警察に伝えておきます。

(6) 信号機が10秒程度しか青に変わらない場所があり、歩行者が渡れなかったり、事故になったりすることがあります。また交通量が多いのに信号機が無い所もあり、なかなか渡ることが出来なくて困ります。

<区役所の回答>

信号機の設置・管理は警察が行っており、交通の流れなどを考慮して決めていると思います。区からもこういった要望があった旨を警察に伝えますので、後ほど場所を教えてください。

(7) 通学路の途中で石が積み重なって高くなっているところがあるのですが、小学生などが登って遊んだりして、非常に危険だと思うので、もっと目立つようにポスターや看板を設置して注意してほしいです。

<区役所の回答>

対応を検討しますので、場所を後で教えてください。

(8) あいさつの大切さを挙げている方が多いですが、どのようなやり方でしていけば良いか参考までに教えてください。

<各中学校回答>

- 生徒会が中心となって校門前や昇降口だけでなく、少し離れた地域まで出て挨拶運動を行う。
- 校長先生などの教職員が一体となって、地域の人や生徒たちに積極的にあいさつをしていけば、それを見た生徒たちも先生たちを真似てあいさつをしていくと思います。